

K_ETCindy インストール手順 (FreeBSD)

修正日：2021 年 9 月 3 日

この文書では、root 権限で実行するコマンドはプロンプトに#を使用して、通常のユーザーで実行するコマンドはプロンプトに%を使用しています。

root 権限で実行するには、root でログインする、su コマンドで root になる、sudo を使う、等の方法があります。

\$HOME はユーザーのホームディレクトリを表す。ユーザー名が hoge の場合、通常は、/home/hoge である。

1. 準備

FreeBSD 上で K_ETCindy を動作させるには、以下の Ports (package) が必要である。

```
x11/xorg
emulators/linux_base-c7
x11/linux-c7-xorg-libs
lang/gcc**
math/R
math/maxima
```

この他に、適当な pdf ビューワーが必要である。ここでは、graphic/evince を使用するものとして話を進めていく。違う pdf ビューワーを使用するときは適当に読み替えること。

インストールされていないときは、以下のように、root 権限でインストールする。(注意：これだけで、必要なものは、依存関係でインストールできる。)

```
# pkg install xorg
# kldload linux
# kldload linux64
# pkg install linux-c7-xorg-libs
# pkg install R
# pkg install maxima
# pkg install evince
```

次に、linux emulator を起動時から動作するように、/etc/rc.conf

に `linux_enable="YES"` を追加する．例えば，

```
# echo 'linux_enable="YES"' >> /etc/rc.conf
```

とする．そして，linux emulator を動作させるために再起動する．

```
# shutdown -r now
```

2. TeX Live のインストール

Ports の TeX Live では K_ET_Cindy は動作しない．そのため，TeX Live のサイトから TeX Live をインストールしなくてはならない．例えば，

```
http://mirror.ctan.org/systems/texlive/Images/
```

から DVD イメージ `texlive2021.iso` をダウンロードして，

```
# mdconfig -a -f texlive2021.iso -u 0
```

```
# mount_cd9660 /dev/md0 /mnt
```

```
# cd /mnt
```

```
# ./install-tl
```

※ 選択肢が表示されたら I + Enter を入力

その他の tex 環境 (TeXWorks, TeXstudio 等) を Ports からインストールすると，Ports の texlive もインストールされてしまう．そのため，「`tlmgr path add`」を行わず，path を適切に設定して，こちらの TeX を優先させたほうがよいようである．ports の TeX Live よりこちらを優先させるためには，他の Path より Path を先に通せばよい．例えば，`csh`，`tcsh` を使用しているときは，`$HOME/.cshrc` に，

```
set path = (/usr/local/texlive/2021/bin/amd64-freebsd /sbin /bin
/usr/sbin /usr/bin /usr/games /usr/local/sbin /usr/local/bin
$HOME/bin)
```

等を足せばよい．なお，必要な path を通すのを忘れないようにすること．`.cshrc` を編集する前に

```
% echo $PATH
```

をして，必要な Path を確認しておくことをお勧めする．

3. Cinderella のインストール

FreeBSD での Cinderella の動作はバージョンによって、動作しないものがある。現時点で、FreeBSD 12.2-RELEASE 上では Cinderella-3.0b.2017 の動作を、FreeBSD 13.0-RELEASE 上では Cinderella-3.0b.2028 の動作を確認している。

`https://beta.cinderella.de/Cinderella-3.0b.2017.tar.gz`

`https://beta.cinderella.de/Cinderella-3.0b.2028.tar.gz`

をダウンロードして、

```
$ tar xvzf Cinderella-3.0b.2028.tar.gz
```

とする。そして、

```
$ ./cinderella/Cinderella
```

として、Cinderella を起動する。解凍する前には、`/etc/rc.conf` に `linux_enable="YES"` を追加して、再起動しておかないと動かないので注意する。

4. ketcindy の設定

github から以下のように

```
% git clone https://github.com/ketpic/ketcindy.git
```

最新版を clone するか、

```
https://github.com/ketpic/ketcindy
```

から `ketcindy-master.zip` をダウンロードして解凍して、

```
% unzip ketcindy-master.zip
```

```
% mv ketcindy-master ketcindy
```

とする。そして、

```
# cp -pr ketcindy/style/* /usr/local/texlive/2021/texmf-dist/tex/latex/ketcindy/
```

```
# cp -pr ketcindy/scripts/* /usr/local/texlive/2021/texmf-dist/scripts/
```

```
# /usr/local/texlive/2021/bin/amd64-freebsd/mktexlsr
```

とする。そして、以下の内容の `ketcindy.ini` を `$HOME` の下に作成する。

```
PathThead="/usr/local/texlive/2021/bin/amd64-freebsd";
```

```
Dirhead="/usr/local/texlive/2021/texmf-dist/scripts/ketcindy";
```

```
setdirectory(Dirhead);
```

```
import("setketcindy.txt");
```

```

PathT=PathThead+"/platex";
GPACK="tpic";
Pathpdf="/usr/local/bin/evince";
PathR="/usr/local/bin/R";
PathM="/usr/local/bin/maxima";
PathC="/usr/local/bin/gcc10";
PathV3="Meshlab";
PathAd="acroread";
PathA="asir";
//PathW="";
PathF="fricas";
Mackc="bash";
Helplist("read",[],"helpJ");
setdirectory(Dircdy);

```

ketcindy.ini は Cinderella で ketcindy/doc/ketcindysettings.cdy を開いて、「Mkinit」のボタンを押して、雛形を作成し、テキストエディターで編集すると作成が楽である。編集するとき、texlive のインストールディレクトリ、gcc、pdfビューワーは環境によって、適宜、書き帰ること。gcc は何が入っているかわからないときは、

```
% ls /usr/local/bin/gcc*
```

等としてみるとよい。

以上で、FreeBSD でも ketcindy が動作する。